

平成 28 年度第 1 回	
仙台市障害者自立支援協議会	
平成 28 年 5 月 24 日	資料 8

部会連絡会について

○開催目的

自立支援協議会を円滑に運営していくため、各部会の検討状況について情報共有を行い、効果的な運営にむけた調整を行う。

○具体的な調整内容

- ・各部会における検討状況の情報共有
- ・各部会の効果的な運営に関する調整
- ・部会間において連携した検討が必要な場合の役割分担の調整

【平成 28 年度 第 1 回部会連絡会で情報共有した内容】

1. 平成 28 年度仙台市障害者自立支援協議会の開催スケジュール案について

事務局案に意見なし

2. 平成 28 年度各部会の開催予定（案）について（各部会の取組の方向性について）

（地域部会について）

地域部会は、障害者が地域の中で一市民としてあたりまえに暮らすことができるよう諸課題を検討する部会である。障害があっても地域の中で問題なく暮らしているケースの支援事例を共有し、他者の支援に活かさないか検討する場としてもよいのではないか。地域部会の検討の進め方を明確にしていくにあたっては、議論の幅や視点が狭くならない工夫が必要。

（地域生活支援拠点等検討部会について）

基幹相談支援センターの設置について意見が出ているが、過去にも議論に上がっていることであり、これまでの議論の経過を確認しておく必要がある。

（評価・研修部会について）

客観的な評価を行うため、評価基準や満たすべき水準の設定が必要。また、市協議会で第 3 者評価導入の意見が出ていたが、事業所同士（ピア）での第 3 者評価も効果が期待できる。評価実施後はグループワーク等で気づきの共有を行うことが望ましい。地域資源開発の手法等も研修に盛り込むことを検討する。新評価票が固まってからになるが、評価の必要性や意味についても研修を行う。

3. 仙台市障害者自立協議会の全体関係図の作成について

平成 27 年度より各区に自立支援協議会が設置され様々な機能をもった会議体が増えたが、各会議体の連動性や機能の違いが分かりにくい状況がある。関係者が、全体の中での位置づけを理解して各会議に携わることができるように、自立支援協議会の全体の関係性が分かる図を作成し、本会で提案することとする。